



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和3年11月15日 No.15
園長 安藤賢治

「今、何が育ちつつあるのか」の視点で

幼稚園の生活の中でも、子どもたちは、確かに成長しています。何よりの“喜び”です。
この『育ち』は、それぞれ違っていています。お迎えの保護者に伝える先生の表情が、柔らかいです。

◇危険も隣り合わせ・・・(教えなければ)

一人が、走って廊下から教室に入ろうとしたとき、他児と衝突、転倒しました。
大きなけがをせずに済みましたが、起きるべきして起きたともいえます。(反省)
降園後、担任が、目に見える形で工夫しました。
“効果てき面”園児の姿が、がらっと変わりました。

「ここ、走ったらダメだよ。」と教え合う子も出ています。

(先生の言葉も柔らかく響きます。)「歩きます。」

*「命を預かっている」・・・このことを、改めて肝に銘じました。



◇近づけないくらい(叱)・・・「何度言ったらわかるの!」(子育て あるある)

いつもとは違う様相の先生。目線を合わせて園児と向き合っています。

「・・・わかる?」「・・・」廊下に連れ出してかなりの時間が経っています。怒っては いません。

(いいねえ、先生。この時を逃さず、頼みますよ。期待は、園児の気づきにあります。)

ほどなく、歩く園児の後ろを先生がついていきます。わかって、くれたかなあ。

(繰り返すことは、承知の上ですが・・・、その時は、また、です。)

*「ここぞ!」とタイミングを見極める感性と成長を願う指導は、ご家族とともにあります。



別の日、「先生、できたよ。」と報告するその園児と微笑み返しをする先生がいます。

・・・一進一退(♪三步進んで、二歩下がる♪)

「ひと」となる365歩の人生です。

* * *

▶笑顔だけの日々ではない、ドラマの展開です。
その日常は、喜びいっぱい「育ち」の道程です。

ご家庭にあっても、“気づき・発見”の連続ではないでしょうか。

何気ない毎日の中に、 確かな成長を見つける喜びを

大人側からの「子育て」は、子どもにとっては、「育ち」です。どう育っていけばいいのか?
共感、称賛と叱責・・・大人を見て育ちます。



「これでいいのだ!」と思える

安心感=道しるべを!

◇スキンシップは、なぜ大事な?

お母さんは、スキンシップをすることで、
子どもがかわいく思えます。

スキンシップを図る

ハグ週間
親子の絆づくり



オキシトシン(愛情ホルモン)

子どもへの愛情が増す。

世話する能力が活性化される。

満足感・安心感は子どもとの愛着を形成します。
愛着は、人と人との信頼関係の基礎となります。

子どもは、スキンシップをすることで
愛されているという安心感をもちます。

私は
愛されている



自己肯定感

私は
存在して
いいんだ

子どもは、愛されている安心感をもつと、いろいろなことにチャレンジするエネルギーと勇気がわいてきます。そして、チャレンジしたことができたとき、「うれしい」「またやりたい」と心から思います。それが、自信になり、自己肯定感になっていきます。

「抱っこ」のあたたかい思い出は、次世代の子育てへ受け継がれていく大切な時間です。0～5歳の頃は、スキンシップで自己肯定感を育てましょう。

“ハグの日”を作ろう！ よい

～キッズウイーク(10/9～13)期間中～



『キッズウイークを最大限に生かそう！』
というPTA 役員さんの発案でした。
*うれしいお声が届いています。
*こんなにも素敵な効果があるんですね。

朝、子供が起きてきてすぐハグするようにしました。「お母さん、大好き」と言ってうれしそうな顔をしてくれたので、一日の始まりが気分よくスタートできました。

我が家では、寝る前に必ずハグをする習慣があります。イライラした日でも、寝る前にハグをすることによって、心が穏やかになり、「イライラしてごめんね。」と素直に反省し、子供の大切さを再確認する事ができると思うので、これからも続けたいと思います。

年少なので、まだまだ甘えたい、上の子と争って自分の方が…という感じで、抱きついてくることが多いですが、座って少し長い時間ハグしていると、かんしゃくの多い子が落ち着いてくれるように感じました。



キッズウイークで一緒に過ごす時間が増えて、沢山ハグできました。最近、忙しくて余裕がなかったのですが、子供とハグすることで、また頑張ろうと前向きになれました。



普段から子どもをハグするようにしています。嫌な事があったり、寂しくなったりすると子どもの方から「ぎゅーして」と言うようになりました。主人も上の子も自然とハグするようになっていきますので、これからも続けます。

「おはよう」や「おやすみ」の時にハグをして、私はあったかい気持ちになりましたし、娘はとても嬉しそうでした。これからも続けたいです。



子供が大きくなるにつれ、ハグ、抱っこする機会が減ってきていましたが、久しぶりに長くギュッとすると、親も日々のことにイライラする気持ちから、改めて子供のかわいさ、大切にしたい気持ちが増えるように感じました。

とっても
幸せな時間です！
ハグの大切さを知るいい
機会になりました。

ハグは習慣となっていますが、改めて「ママとハグしてギュッとするとどんな気持ち？」と問いかけると「あったかくて、やさしい気持ちになってハッピーだよ。」と答えてくれました。お互いの愛情がダイレクトに伝わる最高のスキンシップだと思います。

親である私が恥ずかしくて、普段あまりハグをしないのですが、やってみると、子供がとても喜んでくれたので、嬉しい時など、これからハグをしてあげられるよう、心がけたいと思います。



これからは、**“毎日がハグの日！”** になると良さそうですね。
そして、少し大きくなってきたら、“こそぞ！”という時になってくるのかもしれないね。

・・・嬉しい・・・悲しい・・・大丈夫だよ・・・わかってるからね・・・ etc でしょうか。

(PS：子どもに・・・だけではなさそうですね。)